

資料1の差し替えについて

P. 35 施策7(1) 家庭教育・子育て支援の充実

●事業1(中央公民館)

事業名	事業のねらいと概要						
家庭教育振興事業	子どもの成長期に合わせて、子育てに関する知識や親としてのかかわりなど必要な情報を提供します。また、学校などと連携・協力しながら、家庭教育の啓発を図ります。						
指標の説明	現状		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
家庭教育学級でのアンケートで「今後に活かすことができる」と回答した参加者の割合(%)	/	指標	アンケート実施 指標設定	-----	-----	-----	90
保護者を対象とした家庭教育にかかわる講座等を実施した小中学校の割合(%)		アンケート実施 指標設定	指標	-----	-----	-----	100

P. 37 施策8(1) 学び育つ各世代への支援

●事業2(中央公民館)

事業名	事業のねらいと概要						
現代的課題を学ぶ公民館事業と学習成果を発表する場の提供	市民の自発的な学習活動を支援するために、青年期から高齢期までの各世代の課題やニーズに応じた様々な公民館事業を展開します。また、文化祭などを開催し、市民に学習成果を発表する場を提供します。						
指標の説明	現状		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
現代的課題を学ぶ講座等に参加した人の満足度(%)	95	指標	-----	-----	-----	-----	95

※課題やニーズに応じた公民館事業を展開し、参加者の満足度を維持していきます。

P. 43 施策10(2) 教育の機会均等を図るための取組の推進

●事業2(学務課)

事業名	事業のねらいと概要					
新潟市奨学金貸付事業	大学等への修学のために経済的支援が必要な生徒、学生へ奨学金の無利子貸付を行うことで、高等教育における教育の機会均等を図ります。また、返還の不安を解消することで、在学中も安心して勉学に励めるよう、一定の条件に該当する奨学生には返還金の一部を免除します。					

※指標なし

P. 47 施策12(2) 教職員への支援体制の充実

●事業1(学校人事課)

事業名	事業のねらいと概要						
多忙化解消対策の推進	魅力ある教職員を育成し、質の高い教育活動を行うために、学校園と教育委員会、保護者・地域が一体となって教職員の長時間勤務の縮減を推進します。 ・一校一取組で働きやすい職場改革<組織としての挑戦> ・一人一取組で「自分時間」を創造<個の挑戦> 長時間勤務が常態化している中で、長時間にわたる時間外勤務をしている教職員を減らす取組を進めながら、全体の時間外勤務の縮減を図ります。						
指標の説明	現状		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
月当たり平均時間外勤務時間が45時間を超える教職員の割合(%)	36	指標	30	前年度以下	-----	-----	-----
年間14日以上有給休暇を取得する教職員の割合(%)	58	指標	70	前年度以上	-----	-----	-----